

# 2022年度も「香教組署名」762筆県教委へ提出

**学校の現状が改善するように努めて行く（県教委）**



署名を提出する石川中央執行委員長（右）  
県教委義務教育課藤井祐治 課長補佐（左）

香教組

少人数学級のさらなる前進

香教組 35 人学級が実現した。ありがたい。特別支援教育の人冒がいる。新型コロナウイルス感染症対策の中、ソーシャルディスタンスが取れない取りにくい状況がある。施設設備の充実

給与保障・待遇改善

今、学校現場は  
ブラツクな職場と  
なつていて。人事、給与、  
待遇の面で保障される魅力  
ある職場であつて欲しい。  
年齢を重ねると仕事が（体  
力的にも精神的にも）きつ

## 要求項目

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
[kakyoso@kakyoso.com](mailto:kakyoso@kakyoso.com)  
香川県教職員組合  
定額 1部 50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含む

香教組ホームページ  
<http://kakyoso.com/>

2023年2月17日香教組は県教委義務教育課に対し、「賃金改善や多忙化解消等のための要求署名」を提出しました。提出行動に参加した各支部の代表者から現場の切実な現状が訴えられました。

ぐなる  
待遇改善を  
県教委の壁に  
**香教組**  
「せとうち先生になろう」と貼っているが、年齢を重ねても給料が上がらない。すべての教職員の給与保障を。

## 一年単位の変形労働時間制

香教組 新型コロナウイルス感染症対策がやや緩和され、行事や教育活動等、徐々に元の状況へ戻りつつある。教員のワークライフバランスが崩れている。必要なものだけ残すなど精選して欲しい。一年単位の変形労働時間制では多忙化は解消しない。また国の付帯決議の完全履行が必要である。強制することのないようにお願いしたい。

とさらなる少人数学級を進めて欲しい。

香教組  
朝日新聞の記事  
「いま先生は」の

代替教員の確保について

性教諭が相手の男性から、教員はダメなんですか」「ぼく、教員はダメなんですか」「あなたは多忙でゆつくりできる時間がない。ぼくは一緒に過ごす時間が欲しかった」との理由で交際を断られたという事例が掲載されていた。月の時間外労働が100時間を超える教員、休みが1ヶ月を通してない教員などがいる状況県内のある中学校の新規採用教員は、希望しない部活動の顧問を校長に命じられたり、長時間勤務の状況が改善されなかりした。1年目で異動希望を出したのがかなわず留任となり、その後2年間は頑張ったが、とうとう限界がきて、新規から3年目で退職してしまった。文科省は、「部活動は必ずしも教員が担う必要のない業務」と位置づけしている。教職員の人事異動希望を丁寧に聞き取り、長時

コロナ禍も3年目。職場を訪問して署名をお願いすることが難しい中でのご協力ありがとうございました。この署名をきっかけに教職員のさまざまな要求が実現してきました。「あなたの一票・私の一票」が大きな力になります。2023年度も引き継ぎよろしくお願いいたします。

日頃は子どもたちのための教育活動について、敬意を表したい。署名提出もありたい。学校の現状が改善するよう努めて行く。

間勤務・多忙化の解消を進める具体的な措置を強く求める。

研修もないまま、わかつて  
るものとして、始業式の日に  
最初の問い合わせの電話を受  
けます▼そこで、保護者から  
の心証を悪くすると1年間苦  
しむことになります。そうい  
う新規採用者は少なからずい  
ます▼企業は、社員の働きが  
即日利益につながるので切羽  
詰まつたものがあるからだと、  
話を聞いた役員は話していま  
した▼教育現場も、子どもの  
未来を預かっているのだから  
変わらないのではないでしょ  
うか▼「昔からみんなやつて  
きた」のですが、社会の状況  
が変わり、教職員に求められ  
るもののが変わり：と「昔：」  
とは様変わりしていきます▼若  
年教員の研修について再考す  
る時期が来ているのではないか  
でしょうか。同時に管理職の  
研修内容も要検討でしょ

## 本当に必要な研修は…

小黑板

先日、学生がインターネットとして来ました。4月から正規教員として県

## 全国青年教職員学習交流集会(TANE) in 東京

2023年2月4日、5日全国青年教職員学習交流集会(TANE)が東京とオンラインとで開催されました。

香教組青年部は、現地参加と同時に、2月4日には香教組会館にサテライト会場を設け全体集会に参加しました。小・中学校の教員、オブザーバー参加の私立高校教員が大いに学び合いました。

全体集会後は、香教組青年部の交流会を行い、それぞれの校種から活発な情報交換をしました。

参加者からは、「中学校の特別支援学級在籍の高校の進学者が厳しいが、具体的な高校側の話を聞くことができてとてもよかったです」「テストの点数が取れない児童・生徒にとって、高校入試は高い壁。しかし、社会は、高卒程度の学歴を求めており、軽度の障害や発達障害のある児童・生徒の進学が厳しい。高校側の情報をもっと集める必要があると思った」などの感想がありました。



特に、全国的には廃止の方へ動いている寄宿舎について、その存在意義と重要性について訴え、存続とさらなる充実について要求しました。

（1）寄宿舎指導員の採用

## せんせとたまごの学校

4月から正規採用になる・教諭・講師にかかわらず教育現場で働く方、若年教職員のための座談会です。ちょっと先輩ややさしく先輩から心配や不安なことを気楽に・気さくに聞く会です。どなたでも参加できます。

日時 2023年3月21日 16:00～17:30

場所 香教組会館2階

参加費 無料

参加をご希望の方は右記QRコードから申し込むか、本部（087-867-4797）またはお近くの組合員にお声をおかけください。



## 全教共済 おかわりありませんか

異動などでの住所変更

冠婚葬祭・病気・けがなどおかわりはありませんか？

もしかして給付対象かも？と思ったら

香川教済会までお問い合わせくださいね。

TEL087-867-4797

（香教組会館内）

## 県教委特別支援教育課へ要求行動

### 香教組障害児学校支部・寄宿舎指導員部

香教組障害児学校支部・寄宿舎指導員部は、2023年2月13日、香川高教組と合同で、県教委特別支援教育課と特別支援教育及び特別支援学校の条件整備について要求行動を行いました。

香教組からは石川中央執行委員長と寄宿舎指導員部が出席し、特別支援学校・学級の過密過大化解消や施設設備の充実を要求しました。

特に、全国的には廃止の方へ動いている寄宿舎について、その存在意義と重要性について訴え、存続とさらなる充実について要求しました。

（1）寄宿舎指導員の採用

退職者の補充には正規の寄宿舎指導員を充てること。

（2）寄宿舎指導員には、専門性を重視した採用をすること。

（3）昇任試験の条件（基準）を緩和すること。

（4）特別支援学校の寄宿舎指導員を、「標準法」に則って適正に配置し、実情に合わせて加配すること。

（5）特別支援学校ではな

いた。「産育休代替教員との引継ぎ日が1日もなく、勤務日以外の1日を使用している。勤務内で、引継ぎ日を設けること」についても要求しました。

香教組寄宿舎指導員部は、これまで9月に「寄宿舎教育の充実と発展を求める署名」を県教委特別支援教育課に提出し、毎年、寄宿舎指導員の正規採用が実現しています。この動きは、全国の寄宿舎にかかる教職員の大きな力になっていま

## 「愛着障害について学ぶ(香教組障害児教育部)

2023年1月29日 香教組障害児教育部は、3年ぶりに集合型学習会を開催しました。「今、一番現場で困っている『愛着障害が疑われる児童生徒への対応』について、もう一度学習したい」という部員の要望に応え、和歌山大学の米澤好史先生のオンライン講座を受講しました。

今回の学習会は、急遽決定し、一部の方にしかお知らせできませんでしたが、新型コロナウイルス感染症対策も緩和され始めている

ことから、2023年度は積極的に学びあいたいとの声があがっています。

2022年12月13日、文科省は通常学級に在籍する小中学生の8.8%に学習面や行動面での著しい困難を示す発達障害の可能性があると、調査結果を発表しています。今後、特別支援教育に関する現役教職員の学びがますます重要なになってきます。

